

風水害に備える

1 気象状況に注意し、早めの対応を

気象状況に注意し、早めの対応を心掛けましょう。家族や地域で協力し合い、対応することが災害の被害を少なくすることにつながります。

大雨が降り出したら



防災広報に注意し、近くの川の水位上昇にも注意しましょう。



がけ地や河川の近くでは早めに避難の準備をしましょう。



地域の水防活動に協力しましょう。

2 台風 (気象庁ホームページから抜粋)

台風は、その襲来時期や規模、被害の程度などの予想が可能です。そのため、事前の対策次第で被害を最小限にすることができます。台風が近付いたら、気象情報には十分注意し、適切な対応を取るようにしましょう。

台風の強さと大きさ

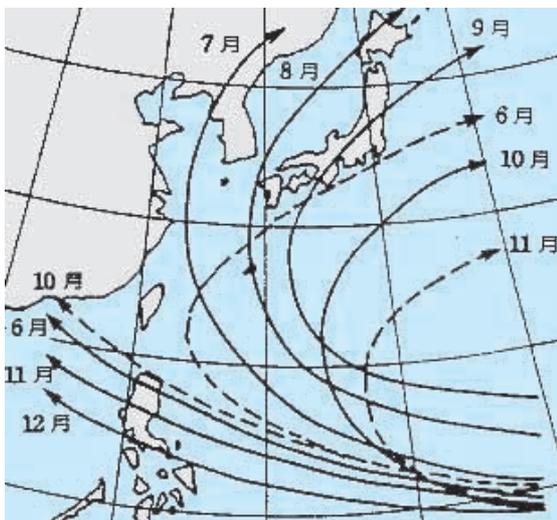
強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上~44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上~54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型 (大きい)	500km以上~800km未満
超大型 (非常に大きい)	800km以上

台風の経路



台風の大きさ

大型、超大型の台風それぞれの大きさは、日本列島の大きさと比較すると次のようになります。

